

== 首都圏消費者のみなさまへ ==

私たちは「再処理とめたい！首都圏市民のつどい」という首都圏の市民団体や個人の市民グループのネットワークです。

青森県六ヶ所再処理工場で2006年3月31日から使用済み核燃料をつかつての試験が開始され、放射能の 대기や海中への放出が始まりました。これに農産物や海産物が微量とはいえ、放射能を取り込みます。2007年11月といわれる本格操業が始まれば、この再処理工場は原発が1年間に放出する放射能をたった1日で放出します。地元の青森県ばかりでなく岩手県など周辺地域にその汚染が及ぶことは必至です。

私たちの大切な食べ物が放射能で汚染されることはほんとうに残念なことです。みなさんも少くなら大丈夫とか、こどもには食べさせたくないとか悩んでいらつやることでしょう。現地の生産者のみなさんはもつと深刻で、口惜しい思いではないでしょうか。ではどうすればいいでしょうか。私たちは再処理工場をなくす以外、解決の道はないと考えます。

私たちは消費者の思いを生産者にとどけることで、悩みを共有し、問題解決への力を大きくしたいと考えました。そこでJA青森中央会と青森県漁業組合連合会宛のハガキを用意しました。本稼動目前の今、首都圏の多くの消費者が「再処理工場による食べ物の汚染を心配している」と伝えること自体が大変重要です。趣旨をご理解のうえみなさまの声をお届けください。よろしくお願ひします。

再処理とめたい！首都圏市民のつどい

連絡先：原水爆禁止日本国民会議 03(5289)8224 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11
日本消費者連盟 03(5155)4765 / ふえみん婦人民主クラブ 03(3402)3244
/大地を守る会 03(3402)8841

JA青森中央会のみなさまへ

私たちは首都圏の消費者です。

青森県産の農産物は私たちの食卓になくなくてはならないものです。ところが六ヶ所再処理工場の試運転による放射能の放出がはじまりました。農産物の汚染が心配です。

問題解決に向けて生産者のみなさまと協力できることを願って、消費者の思いをお届けします。



ひとこと

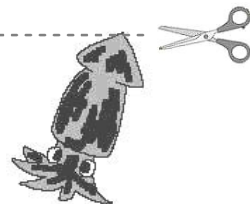
私たちはこれからも青森県産の食品を安心して食べ続けたいと思っています。ぜひ、青森県と事業主体の日本原燃(株)に私たちの首都圏消費者の声をお伝えください。

JF青森県漁連のみなさまへ

私たちは首都圏の消費者です。

青森県近海の家産物は私たちの食卓になくなくてはならないものです。ところが六ヶ所再処理工場の試運転による放射能の放出がはじまりました。海産物の汚染が心配です。

問題解決に向けて生産者のみなさまと協力できることを願って、消費者の思いをお届けします。



ひとこと

私たちはこれからも青森県産の食品を安心して食べ続けたいと思っています。ぜひ、青森県と事業主体の日本原燃(株)に私たちの首都圏消費者の声をお伝えください。

